

# とっとり県美応援団 事務局だより

2021.12.1号



前田寛治「棟梁の家族」(1928年)  
鳥取県立博物館 蔵

霜月から師走へと暦が変わり、日毎に寒さが厳しくなってきましたが、みな様お変わりありませんか。応援団の活動は、計画を少し変更しながらも、みな様の活動参加やご協力のおかげで順調に取り組みを進める事が出来ています。

今月も各チームの活動が計画されています。「これ出来そうだ!」「面白そうだな!」と思われたら、活動を体験してみられませんか。新たな気付きがあったり、活動の楽しみが広がったりしてくるかもしれません。気楽に参加してみてください。お待ちしております!!



## 広報チーム

## チームの活動紹介

## 後方支援チーム

### 広報紙「び〜・さぽ」 第2号の発行準備を開始!

11月21日に編集会議を開き3月の発行を目指して掲載記事について話し合いをしました。  
\*原稿依頼が届きましたら快くご協力下さい。  
\*3月上旬には発送作業を予定しています。  
期日等が決まり次第ご案内しますので、ご協力ください。

### 全会員へ 美術館についての アンケートを実施します

近日中に、アンケート用紙をお届けします。みな様の県立美術館への思いや要望等を次回行われる美術館運営パートナーズの方との「対話会」で具体的に伝えようと思います。  
\*アンケート提出〆切は、12月31日(金)です。  
\*アンケート集計作業への協力をお願いします。  
日時：1月8日(土)午後1時～午後3時  
場所：上灘コミュニティセンター  
その他：筆記用具をご持参ください。

## 来館者対応チーム



古沢さん(左)に教わりながらタペストリー作り挑戦する児童ら=18日、鳥取市佐治町福園の佐治小

**卓上織り機で  
タペストリー**  
佐治小特別授業で制作  
地元ゆかりの染織家18  
なん美術の特別授業が18  
日、鳥取市佐治町福園の佐  
治小で開かれた。5年生ら  
が卓上織り機を使ったタペ  
ストリー作り挑戦し、糸  
の色の組み合わせや、素材  
からの色を生かして、色味  
を表現する。同校で講師を  
務める古沢順子(1955)は、  
織り機に「枠」と呼ば  
れる道具で横糸を通して  
織り上げることを説明。児  
童らは緑の濃淡や、素材の  
異なる複数の糸を組み合わ  
せたものなど好みの糸を通  
び、70ほどのタペストリー  
を完成させた。

谷上美代子さん(右)は「いろいろな色が埋まるのが楽しくて、時間を忘れてくわらわらした。新しくできた自分の部屋に飾りたい」と話した。開校10年の歩みをたどる展示会が21日まで、用瀬町の流しびなの館で開催されている。(野木柳)

県内各地で小学生への体験活動も実施中!!

## 現地集合で、研修会を行います!!

日時：12月15日(水) 14:00~15:00  
場所：コミュニティプラザ 百花堂  
(倉吉市宮川町 TEL 0858-22-681)  
内容：鑑賞研修「古澤順子染織展」

- \*今年度も「日展(工芸部門)」に入選
- \*故郷の風景(日本海)をテーマに制作された大作のタペストリーや身近な素材を活かした多くの作品を鑑賞しながらのギャラリートーク等をお楽しみに!
- \*申込み：12月10日(金)〆切り 事務局まで